

ホシザキグリーン財団平成 30 年度 松江堀川の環境修復に関わる調査研究

1. 目的

松江城を囲む堀川は汽水の生物が生息する特殊な生態系で構成されている。しかし、多数の外来種が確認され、生態系への悪影響が懸念されている。そこで、アカミミガメ等の外来生物の生態調査と防除を行い、最終的に日本本来の生態系を回復させ、豊かな汽水環境と希少種の保全および、好ましい松江城の景観を復活させることを目標に、調査研究を行う。

2. 調査研究

(1) 外来種の防除試行（城山内堀川、中川、比津川、北田川、田町川など）

時期：4月～11月 月3週 週3日程度

- ・ ワナを使用して外来生物（おもにアカミミガメなど）の捕獲・除去を続けることで、外来種の個体数を減らし、生態系回復状況および景観の変化を記録、調査する。

(2) カメ類の行動圏調査 時期：4月～11月

- ・ 堀川水系の各調査地点で捕獲したカメ類にマーキングをして、再捕獲により各種カメ類の行動範囲を調査する。

(3) カメ類の食性調査

- ・ 捕獲したカメの糞と胃内容物から食性を調査。複数の調査地点での各種カメ類の餌生物の違い、在来種とアカミミガメとの食性の競合状況を調査する。

(4) 外来種を原料として作成した堆肥の効果実験

- ・ 捕獲した外来生物を使用して堆肥化する。作成した堆肥の成分分析と、堆肥を使用して野菜類を栽培し、堆肥の効果を調べる。

(5) 生き物調査、水質調査（カメ類の分布調査を含む） 時期：6月 1回

- ・ 堀川水系に分布する生物種の記録とカメ類の分布状況を調査。

(6) カメ類の産卵巣を荒らす生物の特定調査 時期：5月～8月

- ・ カメ類の産卵場所に自動撮影カメラを設置（3カ所ほど）

3. 普及啓発

(1) 松江堀川の環境修復をテーマに、特別展を島根県立宍道湖自然館で開催する。

松江城お堀に生息する生物展示と協議会活動を含めた環境修復活動の実績紹介展示

(2) 環境修復事業の紹介を館内掲示ほか、HPで公開する。外来種に対しての意識調査として、館内に箱を設置したアンケート調査を行う。

(3) 研究成果を財団の研究報告会で発表するほか、研究報告書にまとめる。

4. その他

(1) 協議会主催の一般参加型の生物調査協力

(2) 全国城下町シンポジウム松江大会協力（生物調査、ミニ水族館展示等）

（5月13日、19日）

(3) 各種イベント等の協力